

極的な社会参加を促すため、『市役所』『しんた21』（仮称）登別温泉ふれあいセンター』『亀田記念公園』『新火葬場』内のトイレに専用の設備を設置します。

重点施策

環境にやさしいまちづくり

豊かな緑や清らかな水辺、美しい景観などの快適な環境は、私たちの生活に潤いと安らぎをもたらします。このような人と自然が共生する環境を後世に引き継ぐことは私たちに与えられた使命と考えます。

このため、昨年策定した『登別市環境基本計画』の着実な推進を期して、『（仮称）登別市環境保全市民会議』を設置し市民・事業者・行政が一体となって総合的に取り組んでまいります。

循環型社会の形成には、『大量生産・大量消費・大量廃棄』型の生活形態から、『最適生産・最適消費・最少廃棄』型へ、また、限りある資源やエネルギーを有効に利用される社会への転換が求められています。このため、『一般廃棄物処理基本計画』を改定し、市民や事業者の理解と協力を求めて、ごみの減量化・リサイクル化に向け積極的な取り組みを行ってまいります。

また、平成11年度に用途廃止した旧清掃工場の焼却設備については、適切に解体し撤去するとともに、建

屋は資源物などのストックヤードなどに再利用を図ってまいります。



旧清掃工場

旧千歳最終処分場については、最終覆土をし、浸出水の処理やガス抜きなどの対策を講じて、周辺の生活環境に影響のないよう適正に閉鎖を完了させてまいります。

資源とエネルギーの過剰な消費の抑制、排出物による環境への負荷の軽減などを図るため、環境に優しい新エネルギーへの取り組みが求められています。このため、市内で可能性のある新エネルギーの基礎データを得るための調査に着手してまいります。

私たちは高度な物質文明に埋もれて、ともすれば自然環境に根ざしたたくましく人間らしい生き方を忘れてがちです。その反省から、また自然環境の保全に対する意識の高まりも

あつて自然とのふれあいへのニーズが高まっています。

市内には『登別原始林』をはじめ、多くの優れた自然が残されています。人の活動によって影響を受けることのないよう、関係機関と連携し積極的な保全を図るとともに、自然との共生や自然環境の大切さを学ぶ拠点としての『ふおれすと鉱山』の利用拡大に努めてまいります。



ネイチャーセンター『ふおれすと鉱山』



ふおれすと鉱山・子ども自然教室

また、市内には多くの生物が生息していますので、その生態系を維持

し保全するため、市民や自然愛好団体などの協力を得てその資料のデータベース化を進めてまいります。

なお、キウシト湿原には、北海道レッドリストに掲載されている希少な野生生物が生息していますので、計画的にこの地域を買収しその保全を図ってまいります。



キウシト湿原

重点施策

暮らしやすいまちづくり

快適な暮らしには、道路・公園・下水道などのさまざまな都市施設機能が必要であり、同時に、安らぎと潤いを与えるまちの中の自然や歴史的な景観を保全することが重要です。このため、まもなく策定される『まちづくりアクションプラン』に

基づき、個性豊かで魅力あるまちづくりの実現に向けた都市施設の整備を推進してまいります。